

職員による自己評価

A環境面

利用定員・職員配置・利用スペース等は適切である。
自己評価、保護者向け評価による業務改善の内容をホームページに掲載していない（掲載の予定有り）

B児童への支援内容

利用者の状況に合わせて適切に児童への支援が行われている
個別支援計画を作成するにあたってアセスメントツールを使用して分析しているが、標準化されているものではない

C関係機関との連携

保育所への訪問、他事業所との連携、連絡会や協議会への参加等、関係機関との連携に努めている。

事業所での療育は保護者も積極的に参加していただき、ペアレントトレーニングが含まれるようデザインされている。

利用者が障害のない子どもと交流する機会はない。

D保護者への説明責任・信頼関係

利用開始時に運営規定、利用者負担について説明している。
個別支援計画を保護者に説明し、定期的にモニタリングを行い、同意を得ている

保護者からの子育ての悩み、申し入れに対しては随時対応できる体制になっている

E非常対応

月に1度の避難訓練を実施している

保護者による評価

A環境面

活動スペースの広さ、職員の配置・専門性は十分である

生活空間は清潔に保たれている

帰る時間に子どもにトイレ待ちさせたり、したりするのが心苦しい時がある

B児童への支援内容

支援計画は客観的に分析されて作成されている。

毎月、違うテーマで取り組みに満足している

家に帰ってきても教室の活動を生かせるので日々の生活が楽になった

育児に関する相談をすればいろいろ助言をいただけるので何も問題ない

障害のない子どもと活動する機会はない

C事業所からの情報発信

運営規定、利用者負担等について丁寧な説明があった

毎回悩みをきいてもらって適切なアドバイスをもらえるので助かっている。

D非常対応

緊急時の対応についてスタッフから説明があった。

避難訓練に参加したことがある

事業所内での分析

【共通点】

- ・利用定員、職員の配置、専門性、利用スペースは適切である
- ・児童への支援内容に満足している
- ・活動に保護者も参加することにより、教室だけでなく家での生活に活かすことができている
- ・随時、子育ての悩みに対する相談する事ができている
- ・運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされている
- ・障害のない子どもと関わる機会はない

【相違点】

- ・帰る時のトイレ待ちがある時が気になる
- ・土曜日・日曜日でも営業してほしい

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・子育ての悩みに随時対応することができ、適切なアドバイスができています
- ・児童への支援に対する、保護者の満足度が高い
- ・活動への保護者の参加により、ペアレントトレーニングがなされている

事業所の改善点

- ・ホームページに自己評価・保護者向け評価による業務改善内容を掲載していない
- ・トイレの待ち時間が存在する
- ・標準化されていないアセスメントツールのみを使用してアセスメントしている
- ・障がいのない子どもと関わる機会がない

事業所の改善への取り組み

- ・ホームページ等に自己評価・保護者向け評価による業務改善内容を掲載する
- ・療育の時間中や帰りの時間の前に、トイレや給水等の時間を設定する（時間差を作る）
- ・これまでのアセスメントツールに加えて、標準化されたツールを使用する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

自己評価と保護者による評価を両方行うことにより、事業所の強み、改善すべき点が具体的にあり、今後、サービスの質の向上のために何をすべきなのかを、浮き彫りにすることができた。